

**出田 泰三 議員**  
市民の声



今回の瀬戸内国際芸術祭では、新たに瀬居島を会場に加えては

**Q** 瀬居島には四国八十八カ所霊場の縮小版である島四国や、蛭子神社など見るべき所も多い。また、かつて瀬居島と沙弥島は地続きで三味線島と呼ばれていたとの伝承もあることから、二つの島がアートを軸に再び一つとなるというコンセプトで今回の瀬戸内国際芸術祭の会場に加えてはどうか。

**A** 過去二回の沙弥島会場においても、与島地区すべての島民が運営や作品の制作に関わっており、様々な機会を通じて各島の魅力をPRしてきました。引き続き芸術祭を契機に各島の地域活性化を図っていきます。

ご提案の新たな会場の設定については、各島住民の意見を聞いた上で、県とも協議していきます。

(建設経済部長)



**観光ボランティアガイド養成講座の早期開設を**

**Q** 観光ボランティアガイド養成講座の開設については、過去に前向きな答弁をいただいていたと思うが、未だ開催されていない。本市の魅力を継続して伝えていくためにも、早期に開催し、新たな人材の育成を進めていく必要があるのではないか。

**A** これまでも、観光ボランティアガイド養成に向けた取り組みの一環として、興味のあるかたを対象に、実際のまちあるきの体験研修や、郷土の魅力を再認識し、発信してもらうことを目的とした地域塾を開催してきました。観光ボランティアガイド未経験者を対象とした本格的な養成講座については、今後、観光協会において希望者を募り、開催を目指していきます。

(建設経済部長)

質問の主な項目

- ・ 市営墓地の管理について

**東原 章 議員**  
市民グループ未来の会



積極的な姉妹都市協定の推進を

**Q** 本市と同様に日本健康都市連合に参画している自治体や、大阪府泉佐野市と特産品相互取扱協定を結んでいる自治体と連携を図る中で、今後姉妹都市協定を結び相互交流を密にする考えはないか。

**A** 広域連携による相乗効果は、地方創生を進める上で不可欠との考えから、既に文化財や防災など各分野において連携、交流を図り、本市の活性化や課題解決に取り組んでいるところです。今後他自治体との連携については、明確な目的を持って、姉妹都市、友好都市といった形態に捉われないことなど様々な角度から検討しなければならぬと考えています。

(副市長)

質問の主な項目

- ・ 働きたい町の実現について
- ・ 地域の特色を生かしたまちづくりについて
- ・ 有害鳥獣対策について

健康遊具を通して、健康とふれあいのあふれる公園を

**Q** ライフスタイルが多様化する中で、公園に設置されている健康遊具は自由な時間に多様な運動ができ、非常に有益である。また、そこで行き合う人たちと交流することで心身共に健康になる。このように健康増進と人とのふれあい両方を楽しむことができることのできる公園の整備を求める。

**A** 現在設置している健康遊具は、ジョギング等に利用されている坂出緩衝緑地と隣接する2つの公園に設置することで多様な運動を可能とし、運動効果を高めることを目的としています。

健康遊具の設置に当たっては、設置する公園の立地や利用状況、面積、周辺環境などを考慮し、有効活用が図られるよう検討していきます。

(建設経済部長)

